



最高潮

文責 校長 古賀 弘行

【本年度の生徒会スローガン】

共創～主体的に行動し、
活気あふれる学校～



【6月7日（日）柳川市青少年育成市民会議主催の意見発表会が「白秋ホール」で開催されました】

「いま中学生が訴えたいこと」をテーマに、市内の各中学校の代表（計6名）が発表しました。本校からは3年生のA・Hさんが出場しました。題は「受け入れることから」です。観客席を見渡しながらかけるような話し方で、自分自身のコンプレックスや夢への挑戦を通して、「自分の弱さや苦手な部分も含めて受け入れること」が「新たな一步を踏み出す勇気につながることを表現豊かに訴えました。そして、聞く人の共感をよんだ荒巻さんの意見発表は、柳川市の代表に選ばれ、8月8日に大牟田市で開催される「青少年弁論大会」に出場することに決まりました。



見た目の違いや周りとの少しの違いだけで傷ついている人が大勢います。何気ない一言や視線が誰かを苦しめていることがあります。アレルギーを持つ人も、傷跡がある人も、自分を表現することが苦手な人も、自分を隠さずに生きていける明るい社会はどのようにつくられていくのでしょうか。

【陸上部 6月3日（水）ブロック大会、6月15日（月）地区大会に出場しました】



6月3日に、ブロック（柳川市、みやま市、大川市、大木町）陸上大会が、大牟田市記念グラウンドで開催されました。選手達は、日頃の練習の成果を発揮し、各種目上位4位までに男子12名、女子5名が入賞し、15日の筑後地区陸上大会（会場：久留米総合スポーツセンター陸上競技場）に出場しました。この大会では、男子4×100mリレー、2年男子100m、3年男子100m、男子110mハードル、男子走り高跳び、男子走り幅跳び、3年男子三段跳びの7種目、計7名の生徒が、7月27日・28日の県大会（会場：博多の森陸上競技場）に出場します。

【6月16日（火）生徒総会：生徒主体でよりよい学校づくりに取り組んでいます】



6月16日（火）に生徒総会を行いました。各専門委員会の目標と年間計画などを審議しました。この総会までに、総務委員会をはじめ、生徒会役員で活動原案を作成し、それをもとに学級での討議を通じて質問や意見を考えてきました。総会では、はじめに生徒会長のMさんが、「生徒総会は、全校生徒が学校のことについて考え、意見を共有する大切な場です。今日、提案される活動や議案は、私たち一人ひとりの学校生活に関わるものです。ぜひ、『自分たちの学校をもっとよくするためにはどうすればよいか』という視点を持ちながら話を聴き、考えて欲しいと思います。私たちも皆さんの声を大切にしながらよりよい学校づくりに取り組んでいきます。」と挨拶をしました。そして、質問をする生徒も、それに答える生徒もしっかりと理由を述べ、そのやりとりを真剣に聴いている生徒達も素晴らしい態度でした。初めて生徒総会に参加した一年生は、「これから意見を発表する機会があれば、私もしてみたいです。」「今日の生徒総会で、うるさい人がいたら注意しようと思っていましたが、うるさい人がいなかったのでクラスの成長を感じました。これをもとに、よりよいクラスにしたいです。」と参画意識の高まりを感じます。